

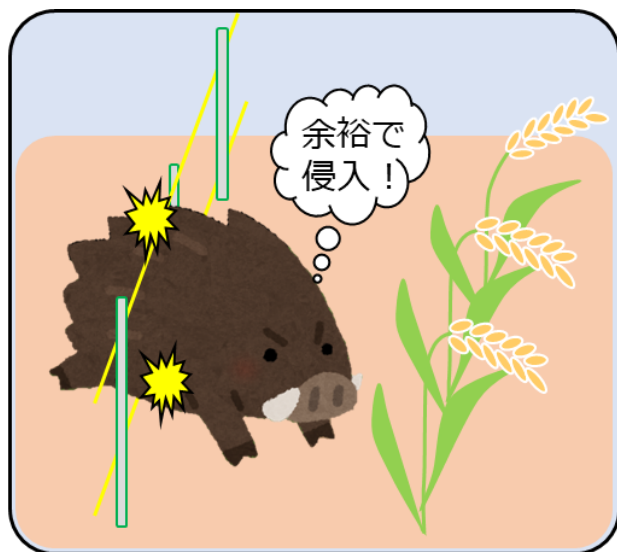
農繁期に発生したイノシシの電気柵侵入 に対する効果的な応急措置方法

1 取組の背景

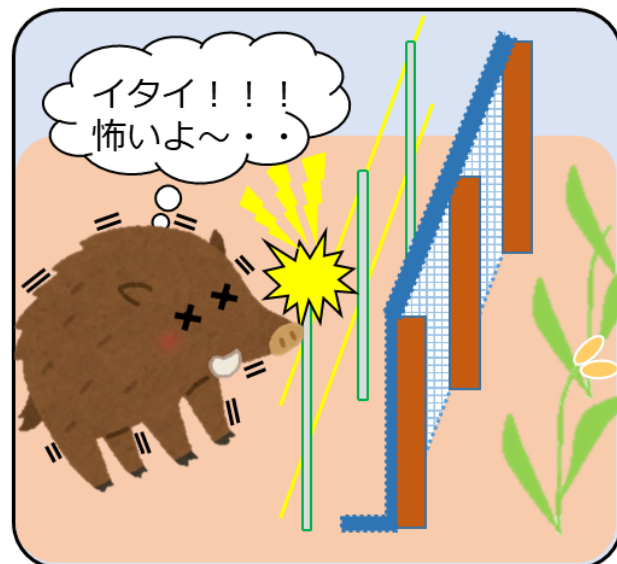
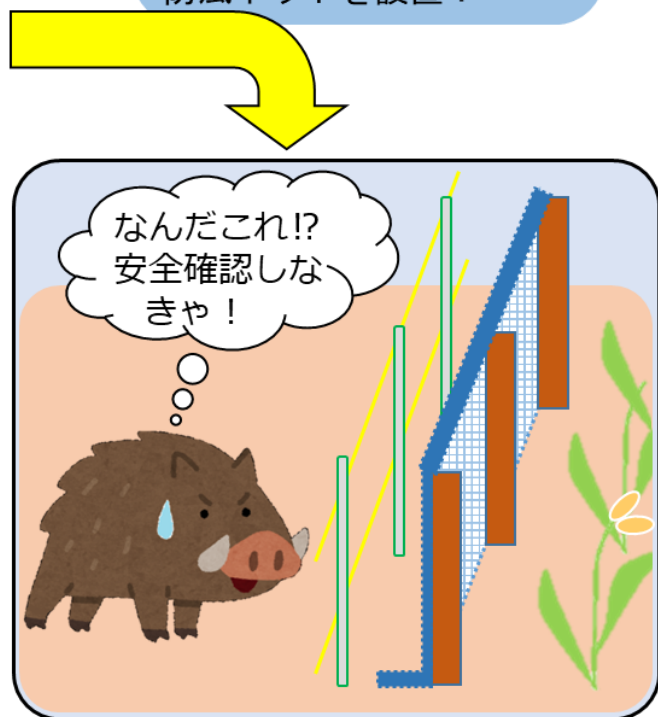
- 一般に、電気柵を設置しているにもかかわらず、農繁期にイノシシがほ場へ侵入した場合、電圧の点検や補修、電線の本数追加、電線の高さを下げる等の対策しか提案できませんでした。しかし、電気柵に慣れて潜り込むことを覚えてしまった個体や作物に執着した個体に対して、これらの対策の効果は限定的で、被害を食い止められないケースが大半でした。
- 今回、そのようなイノシシに対して、緊急的な侵入防止対策として、防風ネットを活用した応急措置対策を実践し、効果を検証しました。

2 実証の狙い

- 電気柵は、イノシシの警戒行動（安全確認のために鼻で触る）を利用して、繰り返し痛みを与えることで侵入を抑制する防護柵の一種であり、心理柵と呼ばれています。
- しかし電源の管理不備や、漏電の放置により、「電気が流れないこと」を学習してしまったイノシシは、警戒行動を取らずに潜り込んだり、跨ぐようになるため、十分な電気ショックを与えられず、恒常的に侵入を許してしまうようになります。
- 本実証では、警戒行動を取らなくなったイノシシに対して、電気柵の内側に障害物となる防風ネットを敷設することで、警戒行動を復活させ、電気柵の効果を蘇えらせることができるか、2ヶ所の実証地で検証を行いました。



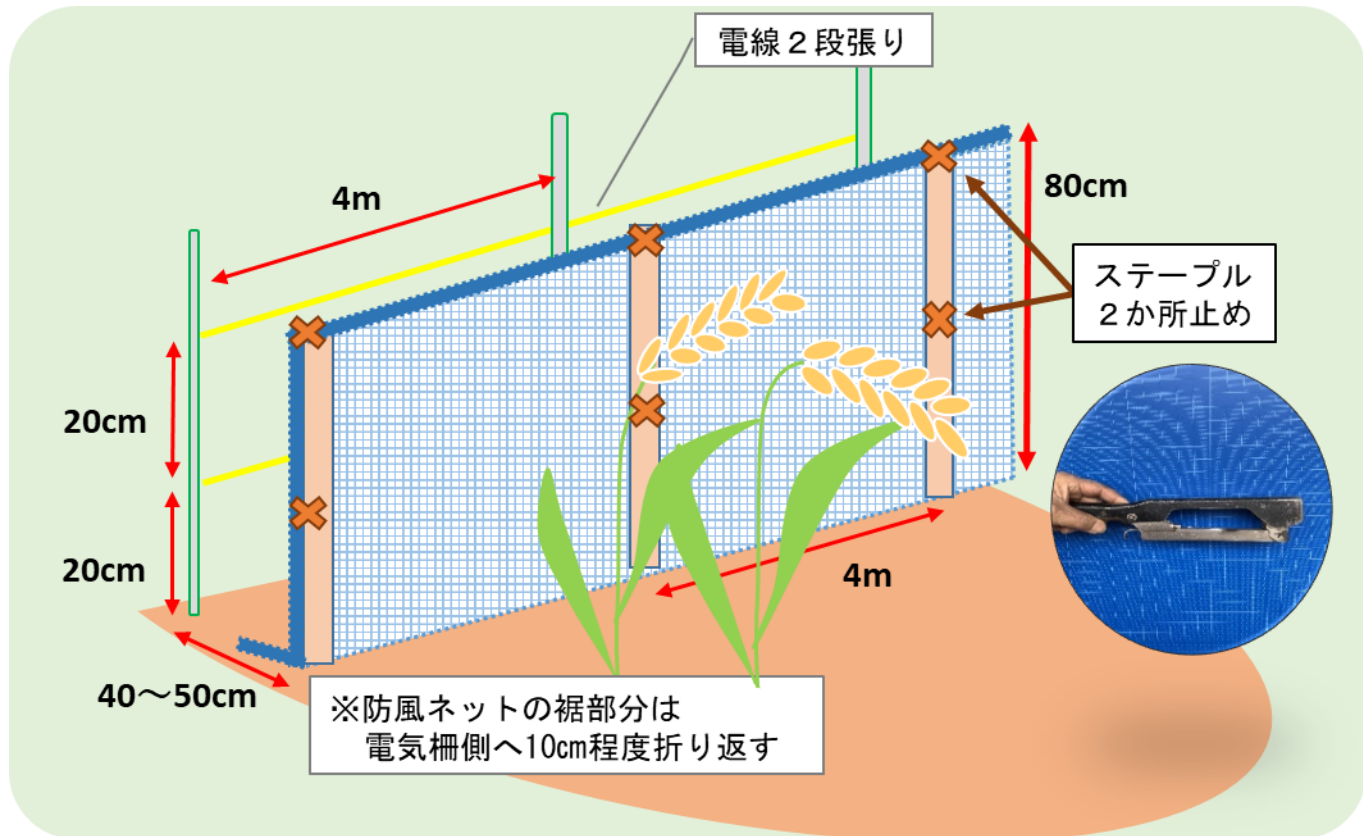
警戒心を復活させるために
防風ネットを設置!



再び警戒行動を取ることで
電気柵に鼻で触れ、恐怖心
を復活!

3 実証内容(設置方法)

- 下図のとおり、侵入が確認された箇所を中心に、電気柵の内側40～50cmの位置に防風ネットを敷設しました。（総延長は、被害状況に応じて50～100mで設定）
- 設置時間は、作業の慣れによる短縮が大きく、慣れていない者2名であれば50m設置するのに1時間30分程度、慣れている者2名であれば50m設置するのに30分程度でした。



4 追加した資材（総延長：100m）

資材名	規格	単価 ①	数量 ②	小計 ①×② (円)
防風ネット	幅：1 m×50m 網目：4 mm	3,780	2	7,560
角材	長さ：1 m 太さ：2 cm×4 cm	55	26	1,430
ホッチキス	ハンマータッカー	8,240	1	8,240
ステープル 2,100本入	肩幅：12mm 足長：10cm	182	1	182
資材費合計				17,412



5 対策結果の概要

- 対策実施後、収穫終了までイノシシの侵入を防ぐことに成功しました。
- ・実証地①：8月中旬～9月上旬
 - ・実証地②：9月中旬～9月下旬
- 防風ネットを設置したほ場への侵入は収まりましたが、周辺のほ場では侵入が確認されたことから、捕獲等の対策と並行することが大切です。



防風ネット設置後、被害は拡大しなかった。